

風土フォーラムに寄せられた意見等一覧

【自然】

	内 容
1	自然保護のため、建築可能エリアの制限等、さらに厳しい規制をかけたかどうか。
2	まちづくりを考える上で、「自然」も主体的に捉えてはどうか。
3	開発や建築の際は、事業地にある絶滅危惧種の草花等の価値を認識して実施してもらいたい。
4	元々の自然を残すため、建設業者等と行政が連携したらどうか。
5	八風山の尾根筋を歩ける散策路を作ってはどうか。
6	特別な立木について、伐採を制限する制度を作ったらどうか。
7	個人で管理できなくなった危険な巨木等について、本人の許可を得て、計画的に町が伐採するようにしてはどうか。
8	軽井沢に昔からある樹種等を指定して植栽するよう指導したらどうか。
9	地区での掃除時に、特定外来植物の駆除をあわせて実施したらどうか。
10	特定外来植物の駆除活動を公認してもらえような措置を取り入れたらどうか。 (腕章等)
11	外来植物の繁殖を減らすため、植物に理解のある人を増やす取り組みをしたらどうか。
12	松くい虫の被害を食い止めるため、正確な情報を広報できるような仕組みを作ったらどうか。
13	自然保護対策要綱を説明するにあたり、精神論の記載をしてはどうか。
14	生物多様性に関する軽井沢ガイドラインを作成し、取り組んだ結果を町のPRに繋げたらどうか。
15	自然保護に関するグループ同士の摩擦を緩和するため、各グループが得意とする分野について活動するエリアを分けてはどうか。これにより、若い人等にも自分の興味ある分野の自然に触れてもらいやすくなる。
16	来軽者に喜んでもらうため、三笠通りの街路樹根元のマスの中に軽井沢の植物を植栽する試みを、地域として取り組んだらどうか。
17	土地の売却時（分譲等）、樹木を伐採してから売る傾向がある。家を建てる箇所のみ伐採するよう指導したらどうか。

18	伐採は、野生動物保護の観点（リス、ムササビ、野鳥等が棲みかを失う）からも極力避けるべきではないか。
19	近年の開発ラッシュ（ホテル建設等）を見ていると、軽井沢の環境破壊が進むのではないかと危惧している。軽井沢はとても厳しい「自然保護対策要綱」で守られているが、現状を見ていると更に厳しい規制が必要かも知れないと感じる。
20	自然保護についての取り組みを決めるべきである。このまま森を破壊し続ければ、避暑地ではなくなり土地の価値も下がってしまう。軽井沢ブランドに傷をつけているのは、今の宅地開拓である。